

平成28年度版 現代の国語

学習活動の重点化等に資する 年間指導計画参考資料

【中学2年】

この資料は、生徒の学びの保障を目的に、教科書の内容から「学校の授業で取り上げることが必要であると考えられる教材・学習活動」と「学校の授業以外の場での学習が可能であると考えられる教材・学習活動」とに区別して、学習活動の重点化の観点から教材ごとの配当時数、主な学習活動などをご提案するものです。地域や学校の状況に応じてご活用ください。

また、年度末段階で指導できなかった内容を次学年に移すなど、次年度以降を見通した教育課程を編成することも考えられます。その際には、引き継ぎを徹底するなど、ご配慮くださいますようお願いいたします。

令和2年7月

三省堂

青の網掛け：学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動

赤 囲 み：感染症対策の観点から指導順序等を変更することが考えられる教材・学習活動

黄の網掛け：学習指導要領の改訂に伴う移行措置

■学習指導要領の指導事項と本資料での略称

領域	略号	1年	2年	3年	事項	略号	1年	2年	3年
話すこと・聞くこと	Aア	話題設定や取材	話題設定や取材	話題設定や取材	伝統的な言語文化	伝国ア(ア)	文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと。	歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむこと。
	Aイ			話すこと					
	Aウ	話すこと	話すこと	聞くこと					
	Aエ	聞くこと	聞くこと	話し合うこと					
	Aオ	話し合うこと	話し合うこと	—					
書くこと	Bア	課題設定や取材	課題設定や取材	課題設定や取材・構成	伝国ア(イ)	古典には様々な種類の作品があることを知ること。	古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。	古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書くこと。	
	Bイ	構成	構成	記述					
	Bウ	記述	記述	推敲					
	Bエ	推敲	推敲	交流					
	Bオ	交流	交流	—					
読むこと	Cア	語句の意味の理解	語句の意味の理解	語句の意味の理解	言葉の特徴やきまり	伝国イ(ア)	言葉の働きや特徴、言葉遣い	言葉の働きや特徴、言葉遣い	言葉の働きや特徴、言葉遣い
	Cイ					伝国イ(イ)	語句・語彙	語句・語彙	語句・語彙
	Cウ	文章の解釈	文章の解釈	文章の解釈		伝国イ(ウ)			
	Cエ	自分の考えの形成	自分の考えの形成	自分の考えの形成		伝国イ(エ)	単語、文及び文章	単語、文及び文章	
	Cオ	自分の考えの形成	読書と情報活用	読書と情報活用	伝国イ(オ)	表現の技法			
	Cカ	読書と情報活用	—	—	漢字	伝国ウ(ア)	漢字の読み	漢字の読み	漢字の読み
						伝国ウ(イ)	漢字の書き	漢字の書き	漢字の書き

■評価規準の観点と本資料での略称

関：国語への関心・意欲・態度

話聞：話す・聞く能力

書：書く能力

読：読む能力

言：言語についての知識・理解・技能

平成28年度版『現代の国語』年間学習指導計画例

■2年

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例	
学びの扉をひらく	14 ～ 16	名づけられた葉 【読(詩)】	2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 繰り返し使われていることばを意識しながら音読する。 2 比喩的な表現について、どんなことをたどっているのか考える。 3 詩の構成に着目して、詩に込められた思いを捉える。 [学びをひろげよう] 4 自分の好きな詩を探す。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	0.3 時間	関 繰り返し音読して詩に込められた思いを捉えようとしている。 読 リズムを感じ取りながら繰り返し音読して、詩に込められた思いを捉えている。 言 多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	Cウ [言語活動] Cア(感想の交流)
	17	読み方を学ぼう①【詩の構成】気持ちを揺さぶる仕掛け ●リズムを感じ取りながら繰り返し音読して、詩に込められた思いを捉える。		0.5 時間			
	18 ～ 29	小さな手袋 【読(小説)】	5	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文を通読し、設定を捉える。 2 登場人物の関係を整理する。 3 展開にそって登場人物の心情の変化を捉える。 4 象徴的な事柄をとおして、人と人の触れ合いについて自分の考えをもつ。 [学びをひろげよう] 5 シホが「雑木林に行かなくなった」場面についての青山さん・秋本さんの意見に対して、その理由を推理する。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	0.5 時間	関 登場人物の心情の変化を読み取ったり、人と人の触れ合いについて自分の考えをもとめたりしている。 読① 登場人物の会話や行動から、心情の変化を読み取っている。 読② 登場人物どうしの交流の読み取りをとおして、人と人の触れ合いについて自分の考えをもっている。 言 多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	Cイ・Cエ [言語活動] Cア(感想の交流)
30	読み方を学ぼう②【象徴】そこには何かが詰まっている ●登場人物の会話や行動から、心情の変化を読み取る。 ●登場人物どうしの交流をとおして、人と人の触れ合いについて自分の考えをもつ。	1 時間					
	31	ことば発見1 類義語・対義語、多義語 【言】 ●類義語・対義語、多義語についての理解を深める。	1	1 類義語・対義語、多義語について考える。 →p275 資「辞典を活用する」		関 類義語・対義語、多義語に関心をもち、積極的に学習に取り組んでいる。 言 類義語・対義語、多義語についての理解を深めている。	伝国イ(イ)
	32	漢字を身につけよう1 【漢】 ●漢字の読み書きについての理解を深める。		1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →p293 資「二年生で学ぶ漢字字典」 ※「漢字を身につけよう」は、年間をとおして計7時間を配当している。	年間 7 時間	関 新しく学習する漢字の読み書きについて関心を深め、意欲的に習得しようとしている。 言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。	伝国ウ(ア)
①情報を読み解く	34 ～ 40	人間は他の星に住むことができるのか 【読(説明)】	5	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 人間が他の星に移り住むために欠かせない条件について、文章中のことばを抜き出す。 2 それぞれの星について、人間が移り住めるかどうかについての筆者の判断と根拠をまとめる。 3 筆者が、自分の考えをわかりやすく伝えるためにどのような工夫をしているかについて、自分の意見をまとめる。 [学びをひろげよう] 4 教材文の論理の展開の仕方を活用して、A・B いずれかのテーマで文章を書く。 A 「ペットを飼うなら何がよいか」 B 「スポーツ大会の種目は何がよいか」 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	1 時間	関 全体と部分の関係に着目して文章の内容を理解しようしたり、構成について自分の考えをまとめようとしている。 読① 文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解している。 読② 文章の構成について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。 言 抽象的な概念を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	Cイ・Cウ [言語活動] Cイ(自分の考えを述べる)
	41	読み方を学ぼう③【段落の大小】まとまりを探せ！ ●文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。 ●文章の構成について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる。					

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例
	64 228 ～ 231	文法のまど1 用言 の活用 【言】 →文法のまとめ ●用言の活用について の理解を深める。	2	1 「歩く」の活用形の違いについて考える。 2 用言の活用について理解する。 3 p224-227「文法のまとめ」「1 用言の活用」について理解する。 4 p227 の「確認しよう」を用いて、学習したことを確かめる。	関 用言の活用について関心 をもち、積極的に課題に取り 組んでいる。 言 用言の活用についての理 解を深めている。	伝国イ(エ)
	65	漢字を身につけよう3 【漢】 ●漢字の読み書きにつ いての理解を深める。		1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →p296 資「二年生で学ぶ漢字字典」	関 新しく学習する漢字の読 み書きについて関心を深 め、意欲的に習得しようと している。 言 新しく学習する漢字の読 み書きについて理解を深め ている。	伝国ウ(ア)
	66 ～ 73 74	見えないチカラとキセ キ 【読書(講演録)】 読書活動 本の帯・ ポップづくり ●選んだ本から適切な 情報を得て、自分の 考えをまとめる。	2	1 教材文を通読する。 2 図書館などを利用して、共生やスポーツを テーマとした本を選び、その魅力を紹介す る。 →p240 資「小さな図書館」	1 時間 関 講演録を読むことを契機と して本を選んで読み、自分 の考えをまとめて紹介しよう としている。 読 選んだ本から適切な情報 を得て、自分の考えをまと めている。 言 相手や目的に応じて、文 章の形態や展開に違いが あることを理解している。	Cオ [言語活動] Cウ(調べて 得た情報を 比較)
③ 視野を 広げる	76 ～ 85	壁に残された伝言 【読(報告)】 ●発見された事実につ いて内容を読み取り、 取材した筆者の思い を捉える。 ●「伝言」という表現に 着目して、筆者のもの の見方や考え方を捉 え、自分の考えをも つ。	5	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「伝言」が「発見された経緯」と「白黒逆転し て現れた事情」について、時間の流れにそ って整理する。 2 「伝言の『あの日』が伝わっていく無限の連 鎖は、今も続いている。」に込められた筆者 の思いについて話し合う。 [学びをひろげよう] A・Bどちらかの課題に取り組む。 A グループでテーマを決め、ルポルタージュ (現地報告)の本を探して紹介し合う。 B 「手書きの伝言」と「インターネットによるメ ッセージの交換」とを比べて、考えたことを 200 字程度の文章にまとめる。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	1 時間 関 内容を読み取って筆者の 思いを捉えようしたり、筆 者のもの見方や考え方を 捉えて自分の考えをもと うたりしている。 読① 発見された事実につ いて内容を読み取り、取材 した筆者の思いを捉えて いる。 読② 「伝言」という表現に着 目して、筆者のもの見方 や考え方を捉え、自分の考 えをもっている。 言 抽象的な概念を表す語句 などについて理解し、語感 を磨き語彙を豊かにしてい る。	Cエ [言語活動] Cイ(自分の 考えを述べ る)
	87	漢字のしくみ2 熟語 の読み 【漢】 ●熟語の読みにつ いての理解を深める。	1	1 「重箱読み・湯桶読み」「同音異義語」な ど、熟語の読みについて考える。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。	関 熟語の読みに関心をも ち、積極的に課題に取り 組んでいる。 言 熟語の読みについての理 解を深めている。	伝国イ(イ)

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例
	88 ～ 93	推論と対話で考えを広げる 主張文【書】 ●自分の立場や考えとともに、それを支える事実や事柄を明らかにして、文章の構成を工夫する。 ●書いた文章を読み合い、互いの主張や表現の仕方について意見を交流して、自分の考えを広げる。	7	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見直しをもつ。 1 課題文を読み、それぞれの人の行動の理由を推論する。 2 対話によって、考えを広げる。 3 「災害時における行動」について、主張文を書く。 4 主張文を読み合う。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	1 時間 関 推論と対話で考えを広げながら主張文を書こうとしている。 書① 自分の立場や考えとともに、それを支える事実や事柄を明らかにして、文章の構成を工夫している。 書② 書いた文章を読み合い、互いの主張や表現の仕方について意見を交流して、自分の考えを広げている。 言 相手や目的に応じて、文章の形態や展開に違いがあることを理解している。	Bイ・Bオ [言語活動] Bイ(意見を述べる文章)
	94	漢字を身につけよう4【漢】 ●漢字の読み書きについての理解を深める。		1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →p298 資「二年生で学ぶ漢字字典」	関 新しく学習する漢字の読み書きについて関心を深め、意欲的に習得しようとしている。 言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。	伝国ウ(ア)
古典に学ぶ	96 ～ 105	枕草子・徒然草【伝(古文)】 ●自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ●古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。	4	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 意味の切れめに注意して繰り返し音読し、暗唱する。 2 「枕草子」について、筆者が「をかし」と評価しているものを整理し、それぞれの季節に対して筆者がどのように感じているか考える。 3 自分にとっての「をかし」を加えながら、「枕草子」のなかの、どの季節にいちばん共感できるか考える。 4 「徒然草」で、筆者はどのようなできごとを受けて、「少しのことにも先達はあらまほしきことなり。」と言っているのか考える。 5 「仁和寺にある法師」と似たような経験や事柄を考えて発表し合う。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。 →p256 資「枕草子」 →p258 資「徒然草」	関 筆者のものの見方や感じ方を捉えようしたり、古人の心情を自分たちとの対比の中で読み取ろうとしてしている。 読① 自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉えている。 読② 古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取っている。 言 文章に表れたものの見方や考え方に触れ、筆者の思いを想像している。	Cエ 伝国ア(イ) [言語活動] Cア(感想の交流)
	106 ～ 107	表現プラザ①「超訳」に挑戦【書】 ●書きぶりや形式を工夫して、イメージや特徴が効果的に伝わるように書く。	3	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 「超訳」の対象となる古典作品を選ぶ。 2 イメージや特徴が伝わるように「超訳」に挑戦する。 3 書いた作品を読み合っ、表現の工夫について感想を交流する。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	関 古典の世界を自分なりに表現することを楽しみながら、創作活動に積極的に取り組んでいる。 書 書きぶりや形式を工夫して、イメージや特徴が効果的に伝わるようにして書いている。 言 目的に応じて文章の形態や展開に違いがあることを理解している。	Bウ

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例
	108 ～ 118	平家物語 【伝(古文)】	5	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 人物の様子を思い描きながら古文を朗読する。 2 熊谷次郎直実の行動や心情について、次の観点からまとめて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「あれは大将軍とこそ見まもらせ候へ。」と、大将軍(敦盛)を見つけたときの気持ち。 ・「あはれ、助けたてまつらばや。」と思った理由。 ・「土肥・梶原五十騎ばかりで続いたり」を見たときの気持ち。 	<p>関 朗読して古典のリズムを味わおうしたり、登場人物の考え方について自分の考えをもとめたりしている。</p> <p>読① 仮名遣いや語句の意味に注意しながら朗読し、古典のリズムを味わっている。</p> <p>読② 場面や状況を捉え、登場人物の考え方について、自分の考えをもっている。</p> <p>言 物語に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像している。</p>	Cイ 伝国ア(ア) 伝国ア(イ) [言語活動] Cア(感想の交流)
119	読み方を学ぼう④【物語の転換点】予想外の曲がり角	<ul style="list-style-type: none"> ●仮名遣いや語句の意味に注意しながら朗読し、古典のリズムを味わう。 ●場面や状況を捉え、登場人物の考え方について、自分の考えをもつ。 				
	122 ～ 125	漢詩の世界 【伝(漢文)】	4	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 語句の意味や詩の構成などに注意して朗読し、漢詩のリズムを捉える。 2 三編の漢詩について、それぞれ次のことを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・作者はどこにいて、何をしているか。 ・そのときの作者の心情はどのようなものか。 	<p>関 作品の特徴を捉えて漢詩の世界を読み味わおうしたり、情景を想像して古人の心情を捉えようとしたりしている。</p> <p>読① 漢詩独特の言葉づかいや調子を捉えて、漢詩の世界を読み味わっている。</p> <p>読② 漢詩に描かれた情景を想像し、古人の心情を捉えている。</p> <p>言 作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界を楽しんでいる。</p>	伝国ア(ア) 伝国ア(イ) [言語活動] Cア(感想の交流)
126 ～ 127	古典情報 漢詩の形式	<ul style="list-style-type: none"> ●漢詩独特の言葉づかいや調子を捉えて、漢詩の世界を読み味わう。 ●漢詩に描かれた情景を想像し、古人の心情を捉える。 				
	128	漢字を身につけよう5 【漢】		<ul style="list-style-type: none"> 1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →p300 資「二年生で学ぶ漢字字典」 	<p>関 新しく学習する漢字の読み書きについて関心を深め、意欲的に習得しようとしている。</p> <p>言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。</p>	伝国ウ(ア)
④ 分析的に 考える	130 ～ 140	動物園でできること 【読(評論)】	5	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 筆者が勤めている動物園で「楽しみの場」と「学びの場」を両立させるために実践されている三つの事例を要約する。 2 動物園のあり方についての筆者の主張を読み取り、自分の知識や体験と関連づけて考えをまとめる。 3 筆者がこの文章で示している三つの展示方法の例示の効果を考える。 	<p>関 筆者の主張を読み取ろうとしたり、それについて、知識や体験と関連づけて自分の考えをもとめたりしている。</p> <p>読① 文章の全体と部分の関係や、例示の効果などに注意して、筆者の主張を読み取っている。</p> <p>読② 筆者の動物園に対する考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもっている。</p> <p>言 抽象的な概念を表す語句、多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	Cイ・Cエ [言語活動] Cイ(自分の考えを述べる)
141	読み方を学ぼう⑤【例示】「なるほど！」と言わせたい	<ul style="list-style-type: none"> 4 3人の意見から一人を選んで、説得力のある反論を200字程度で書く。 <p>◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。</p>				

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価標準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例
	142 ～ 143	ことば発見2 方言と 共通語 【言】 ●方言と共通語について の理解を深める。	1	1 方言と共通語の特徴について理解する。 2 方言と共通語の使い分けについて考える。 3 方言のアクセントの特徴について考える。 4 「確かめよう」の課題に取り組む。	関 方言と共通語に関心をも ち、積極的に課題に取り組 んでいる。 言 方言と共通語について の理解を深めている。	伝国イ(ア)
	144 ～ 150	異なる立場や考えを 尊重して パネルディス カッション 【話聞】 ●決めた話題について、 取材や調査などで情報を 集めて整理する。 ●話の構成に注意して、 要点を捉えたり自分の考 えと比べたりしながら聞 く。 ●異なる立場や考えを尊 重し、互いの発言を検討 しながら話し合い、自分 の考えを広げる。	5	◆学習目標と学習の流れを 確認し、学習の見通しを もつ。 1 テーマを決める。 2 立場ごとにグループを 作る。 3 提案を組み立てる。 →p270 資「インタビューを する」/p271 資「ア ンケートをとる」 4 パネルディスカッション を開く。 ・はじめのことば ・パネリストの提案 ・パネリスト相互の質問 ・意見交換 ・フロアからの質問・意 見 ・まとめのことば 5 パネルディスカッショ ンを振り返る。 ◆学習目標を再確認し、 学びを振り返る。	関 異なる立場や考えを尊 重しながら、パネルディス カッションに積極的に取 組んでいる。 話聞① 決めた話題につ いて、取材や調査などで 情報を集めて整理してい る。 話聞② 話の構成に注 意して、要点を捉えたり 自分の考えと比べたりし ながら聞いている。 話聞③ 異なる立場や考 えを尊重し、互いの発言 を検討しながら話し合い 、自分の考えを広げ ている。 言 相手や目的に応じて、 話の形態や展開に違い があることを理解してい る。	Aア・Aエ・ Aオ [言語活動] AI(討論)
	151 232 ～ 243	文法のまど2 助詞・ 助動詞 【言】 →文法のまとめ ●助詞・助動詞について 理解する。 ●文の成分の順序や照 応、文の種類について 理解する。	3	1 空欄に入ることばを探 して、いろいろな文をつ くる。 2 自立語と付属語の区 別や、助詞・助動詞の 種類やはたらきについて 考える。 3 p228-233「2 助詞・ 助動詞のはたらき」「3 文の成分の順序と照 応」「4 文の種類」につ いて理解する。 4 p234-235「確認し よう」を用いて、学習 したことを確かめる。	関 助詞・助動詞、文の 成分や照応、文の種類 に関心を持ち、積極 的に課題に取り組ん でいる。 言① 助詞・助動詞につ いて理解している。 言② 文の成分の順序 や照応、文の種類につ いて理解している。	伝国イ (ウ)・イ(エ)
	152	漢字を身につけよう6 【漢】 ●漢字の読み書きにつ いての理解を深める。		1 中学校で学習する漢 字を読む。 2 中学校で新しく学習 する読みを学ぶ。 →p301 資「二年生で 学ぶ漢字字典」	関 新しく学習する漢字 の読み書きについて関 心を深め、意欲的に 習得しようとしてい る。 言 新しく学習する漢 字の読み書きにつ いて理解を深め ている。	伝国ウ(ア)
⑤読みを 深め合う	154 ～ 156	大阿蘇 【読(詩)】 ●詩の表現技法とその 効果を理解し、詩に 描かれた情景を読み 取る。 ●眼前に展開する自然 の姿を捉え、想像豊 かに朗読する。	2	◆学習目標を確認し、 学習の見通しをもつ。 1 繰り返し(リフレイン) や言いかえなどの表 現に注意して朗読す る。 2 詩を読んで思い描 いた情景や印象につ いて、交流する。 [学びをひろげよう] 3 作品にふさわしい 読み方をグループで 考えて、朗読発表会 を開く。 ◆学習目標を再確認 し、学びを振り返る。	0.5 時間 関 情景を読み取ろう としたり、想像豊かに 朗読しようとしてい る。 読① 詩の表現技法と その効果について、 具体的な表現に基づ いて考えながら、詩 に描かれた情景を 読み取っている。 読② 眼前に展開する 自然の姿を捉え、 想像豊かに朗読 している。 言 助詞や助動詞など のはたらきに注意し、 語感を磨き語彙を 豊かにしている。	Cイ [言語活動] Cア(感想 の交流)

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例	
	196 ～ 199	わかりやすく、心をこめて書く 手紙 【書】 ●自分の立場と伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式を踏まえながら構成を工夫して書く。 ●相手や目的に応じて、事柄が正しくわかりやすく、気持ちが十分に伝わる書き方になるように推敲する。	5	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見直しをもつ。 1 「誰に」「何を」伝えるのかを決める。 2 「どのように」書くかを考えながら、下書きをする。 3 下書きを推敲する。 →p280 資「推敲の仕方と観点」 4 清書して、投函する。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。 ※学校行事等の変更にあわせて、適宜手紙の相手・内容を考える。 (例:職業体験でお世話になった人 →日頃お世話になっている方など)	2 時間	関 わかりやすく、心がこもったものになることを意識して手紙を書こうとしている。 書① 自分の立場と伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式を踏まえながら構成を工夫して書いている。 書② 相手や目的に応じて、事柄が正しくわかりやすく、気持ちが十分に伝わる書き方になるように推敲している。 言 話しことばと書きことばとの違いや、相手や目的に応じて、文章の形態や展開に違いがあることを理解している。	Bイ・Bエ [言語活動] Bウ(手紙)
	200 ～ 201	表現プラザ② 対話劇を体験しよう 【話聞】 ●対話劇とその振り返りの話し合いをとおして、話しことばの特徴やコミュニケーションについての考えを広げる。	3	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見直しをもつ。 1 グループに分かれて台本を読む。 2 空欄の部分のせりふを自分たちで考えて、台本を作り変える。 3 リハーサルをして、発表会を開く。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。		関 関係や状況によって変化することばのやりとりを楽しみながら、対話劇に積極的に取り組んでいる。 話聞 対話劇とその振り返りの話し合いをとおして、話しことばの特徴やコミュニケーションについての考えを広げている。 言 話しことばと書きことばとの違い、共通語と方言の果たす役割、敬語のはたらきなどについて理解している。	Aオ
	202	漢字を身につけよう8 【漢】 ●漢字の読み書きについての理解を深める。		1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →p304 資「二年生で学ぶ漢字字典」		関 新しく学習する漢字の読み書きについて関心を深め、意欲的に習得しようとしている。 言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。	伝国ウ(ア)
⑦つながりを考える	204 ～ 214	ポテト・スープが大好きな猫 【読(小説)】 ●場面の展開や登場人物の描写などに注意して、関係や心情を読み取る。 ●登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。	5	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 「おじいさん」と「猫」がそれぞれの気持ちとは異なる言動をとっている部分を探す。 2 「猫」がなぜ魚を捕ってきたのかについて考える。 3 おじいさんの気持ちの変化について考える。 4 「ポテト・スープ」の果たしている役割について、考えたことを話し合う。 [学びをひろげよう] 5 A・Bどちらかの課題を選んで取り組む。 A 気に入った場面を中心に、「猫」の視点で物語を書き換える。 B 「ブラックバード」たちがどんな会話をしているか、想像して書く。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	1 時間	関 登場人物の関係や心情を読み取ろうとしたり、言動の意味を考えて内容を理解しようとしている。 読① 場面の展開や登場人物の描写などに注意して、関係や心情を読み取っている。 読② 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解している。 言 多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	Cア・Cイ

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例	
216 く 220		ふるさつを見つめ直す 地域情報誌 【話聞/書】 ●目的に応じて会議を開き、互いの発言を検討して考えを広げる。 ●地域の特色や課題について、取材や調査などで集めた情報を検討し、文章にまとめる。	9	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見直しをもつ。 1 編集会議を開き、企画を立てる。 2 情報収集を行う。 →p270 資「インタビューをする」/p271 資「アンケートをとる」 3 レイアウトを決める。 4 記事を書き、誌面を作る。 →p280 資「推敲の仕方と観点」 5 発表会を開く。 →p277 資「手紙・はがき・メールの書き方」 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	2 時間	関 地域の人々との交流を通してふるさつのよさを発見し、それを伝える地域情報誌づくりに積極的に取り組んでいる。 話聞 目的に応じて会議を開き、互いの発言を検討して考えを広げている。 書 地域の特色や課題について、取材や調査などで集めた情報を検討し、文章にまとめている。 言 相手や目的に応じて、文章の形態や展開に違いがあることを理解している。	Aオ・Bア 伝国イ(オ) [言語活動] Aア(調べてわかったことを説明・発表)
221		漢字を身につけよう9 【漢】 ●漢字の読み書きについての理解を深める。		1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する特別な読み方をする漢字を学ぶ。 →p305 資「二年生で学ぶ漢字字典」		関 新しく学習する漢字の読み書きについて関心を深め、意欲的に習得しようとしている。 言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。	伝国ウ(ア)
<p>◇都道府県名に用いられる漢字のうち、現行の学習指導要領において小学 5・6 年に配当されていた漢字は、新学習指導要領では全て小学 4 年の配当になりました。また、下記の 20 字が、新たに 4 年配当になりました。 【茨, 媛, 岡, 瀧, 岐, 熊, 香, 佐, 埼, 崎, 滋, 鹿, 縄, 井, 沖, 栃, 奈, 梨, 阪, 阜】 上記漢字の学習機会を確保するため、令和 2 年度の 1 年生・2 年生には、これらの漢字の指導が必要となります。</p> <p>◇必要に応じて、移行措置資料をご活用ください。 https://tb.sanseido-publ.co.jp/j-school/js-kokugo/28-jkokugo/transition-measures/</p>							
222 く 223		歌のことば あとひとつ					



[配当時数] 140 時間 (書写 20 時間を除く, 全 120 時間)

1. 学校の授業で取り上げることが必要であると考えられる教材・学習活動 : 93.4 時間
2. 学校の授業以外の場で学習が可能であると考えられる教材・学習活動 : 26.6 時間